

第 3 回海釣機能専門分科会資料

利用範囲・安全対策等検討資料

【利用範囲】

【利用可能範囲】

東防波堤（200m）

①現状

安全面において既存設備があり有効な場所

- ・現状、安全柵が既設されており、安全性・コスト面から効果的な利用が可能
- ・足場も良く、初心者や親子での釣り場として活用が期待できる

漁港側漁業従事者エリアとも柵が既設であることから利用者と漁業者の相互関係を保つことができる

- ・漁港側エリアとの柵が既設されており、漁協・漁業者と利用者の範囲をわけることで支障が無い

フィッシングイベントも開催されており一定の釣果も期待できる

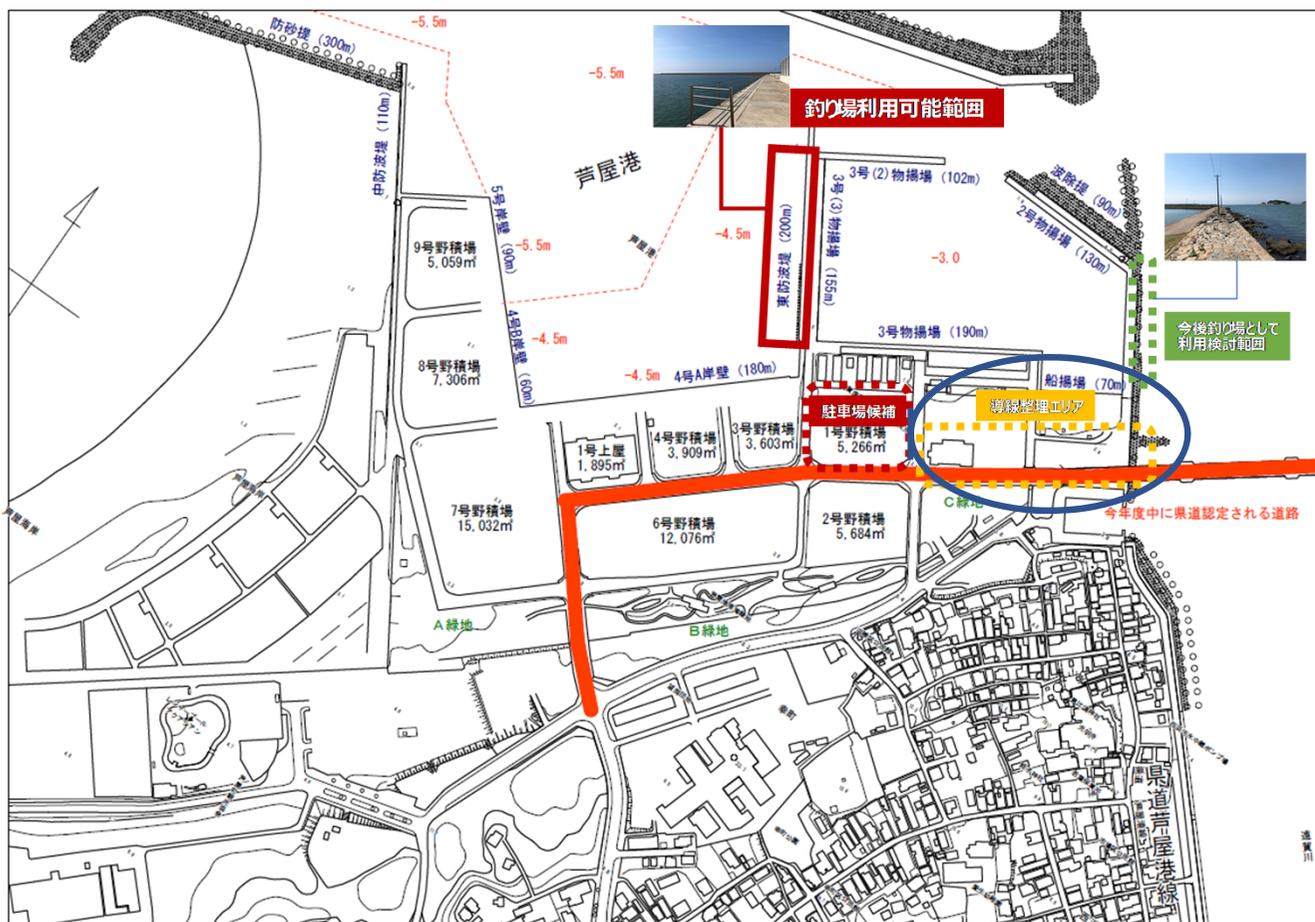
- ・釣果の期待は、初心者向けでは期待できる
- ・夜釣り等ができれば釣果の期待も高まる

②課題

- ・既存安全フェンスを利用することで問題が無いか（高さ、安全面等）
- ・安全柵以外の落水防止等の整備として何が必要か
- ・水銀灯など、夜釣りのために必要な整備として何が必要か
- ・釣場として釣果が年間期待できるか

③利用範囲の条件

- 1号野積場を駐車場として利用
⇒1号野積場の駐車場利用は漁協側は問題ない
- 駐車場から遠賀川河口までの漁協と釣り利用者の導線整理（漁協を通らない導線）が必要
⇒1号野積場から漁協の事務所裏を通らないように、例えばなみかけ大橋から階段を使い、2号物揚場へ移動出来るような導線整備
- 船揚げ場の違法利用規制による釣り人との利用区域の区分が必要
⇒漁港側船揚げ場の違法利用で漁業者との危険性もあることからフェンス等による区分が必要



【安全対策】

安全対策においては、親子ファミリー層、女性層が安全、安心、快適に利用することが前提となるが、釣り利用として提供する場合には、利用者の自己責任を前提とし、利用者の安全が確実に措置されるための対策が確実に講じられるよう検討する必要がある。

* 参考：国土交通省港湾局「防波堤等の多目的使用に関するガイドライン」
港湾管理者が管理する防波堤等を釣り利用として供する場合には、防波堤等の本来の用途又は目的を達成するために必要な安全対策とは別に、釣り利用としての用途又は目的を踏まえ、利用者の自己責任を前提とし、利用者の安全が確実に措置されるための対策が確実に講じられる必要がある。

【現状設備】

- ・東防波堤と3号物揚場との仕切り柵が既に成されており、利用者と漁協の組合及び漁業者との区別が可能であり、現時点での大きな整備が最小に抑えられる。
- ・海側に安全柵が既に設置されており、現時点での大きな整備が最小に抑えられる。
- ・トイレ、手洗い場等の施設は現状無い為、設置が必要。
- ・夜間の照明は漁港側に水銀灯があるが、東防波堤側の照明については検討が必要。



安全対策

項目	現状	必要条件	課題・整理
転落防止柵	現状、東防波堤には既存設置柵有り	既存設備の活用が可能	管理者と協議 既存設備の現調管理
侵入防止柵	・漁協側（3号物揚場）との仕切り柵有り	・必要なし	
危険表示ライン	・無し	・入口、安全柵、防波堤利用エリアでの表示看板等が必要	設置カ所の現調 仕様・コスト 管理 ランニングコスト
救命胴衣	・無し	・設置が必要	
トイレ	・トイレ施設の設置が必要。 ・衛生管理に伴う委託等の運用が必要。	・トイレ施設の設置が必要。 ・衛生管理に伴う委託等の運用が必要。	管理者との協議 設置箇所 仕様、コスト 水道高熱費の負担、ランニングコスト 衛生管理のランニングコスト
手洗い場	・無し	・手洗い場施設の設置が必要 ・衛生管理に伴う委託等の運用が必要	管理者との協議 設置箇所 仕様、コスト 水道高熱費の負担、ランニングコスト 衛生管理のランニングコスト
管理棟	・無し	・必要なし ・釣り竿レンタル、餌、体験のレンタル、販売、受入場所が必要	
夜間の照明	漁港側に水銀灯	・夜間釣り客の安全性の確保は必要	管理者と協議 既存設備の現調 新規設置の仕様、コスト 管理 ランニングコスト
管理者・ 管理マニュアル	・無し	・常駐管理者は置かない ・運営管理者による緊急時の対応者、管理者の明確な規定・マニュアルを準備	
管理者	・無し	・必要なし ・緊急時の対応者、管理者の明確な規定が必要	

【利用料金】

①比較検討

	有料	無料
	施設利用料を有料とすることで、施設運営、安全管理、雇用等を図る	施設利用料を無料とすることで、利用時間を24時間とし、朝、昼、夜の釣りを楽しみ、集客に結びつける。
効果	利用料収入による経済効果を生み出す 有料利用者数は、限定される可能性がある 安全管理上、利用時間を制限しなければならない 釣果が期待できない利用エリアでの集客 利用料収入がある	無料エリアとしての安全管理責任を軽減する 朝、昼、夜の釣りを可能とし、釣果への期待を高める 集客に結びつけ、他施設と連動し経済効果を高める
課題	有料顧客の集客策 利用者の安全管理責任 管理棟・管理人の設置が必要 利用時間・年間営業日等の設定が必要	利用料収入がない 運営費等の捻出が必要 利用者への安全を促す必要はあるが自己責任とした安全管理 管理棟・管理人の設置が必要ない 年間・24時間の利用ができる（時間・営業日の制限がない）
利用料金設定	（利用料金） 他施設の利用料金を参考に算出 ◆施設基本利用料 大人/1人/1回 1,000円 小人/1人/1回 500円 ◆レンタル料 竿、エサ、仕掛け、バケツ、ライフジャケット付1,500円	（利用料金） ◆施設基本利用料 大人/1人/1回 無料 小人/1人/1回 無料 ◆レンタル料 竿、エサ、仕掛け、バケツ、ライフジャケット付1,500円
参考	（参考） 芦屋商工会青年部主催ファミリーフィッシングイベント 1名：2,000円 2名3,000円（餌、仕掛け付き） * 竿、ライフジャケット別	（参考） 芦屋商工会青年部主催ファミリーフィッシングイベント 1名：2,000円 2名3,000円（餌、仕掛け付き） * 竿、ライフジャケット別 （但し、貸出時間の制限がある）

②まとめ

施設利用料金の有料、無料については、利用エリアの釣果状況、利用時間制限、安全対策の点から集客性が低くなる可能性が高い。無料化により集客を高め、他施設と連動した経済効果を生む施策が有効と考えられる

【利用時間・営業日】

無料

特に定めない

・天候等で危険性がある場合の対応を定める

参考資料

I-3. 実態調査（近隣海釣り公園施設）

● 海釣り公園とは

一般的な海釣り公園の形として、以下の3点が挙げられる。

- ① 安全：海上に栈橋、釣台などが構築され、救命胴衣の貸出等もあり誰でも安全に釣りを楽しめる。
- ② 自然：釣り堀と異なり、囲いに放された養殖魚を釣るのではなく、自然の釣り場である。
- ③ 手軽：駐車場、売店等が併設。道具をレンタル・購入でき、手ぶらでも気軽に楽しめる。

* 図7



施設名	概要	営業時間・定休日	料金（釣台）	料金（駐車場）	釣れる魚	資料
脇田海釣り栈橋 北九州市 脇田海釣り栈橋 事務所	<ul style="list-style-type: none"> ● 総延長500m (釣台 300m) ● 管理棟 (入口部分) 構造：鉄骨造平屋建て 面積：29.8平方メートル 用途：利用料金の収受 ● 休憩棟 構造：鉄骨2階建 面積：426.0平方メートル 用途：(1階)トイレ・自動販売機、売店、竿無料修理コーナー、(2階)休憩・展望 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月～10月 6：00～19：00 ● 11月 6：00～18：00 ● 12月～2月 7：00～17：00 ● 3月 6：00～17：00 ● 定休日：毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は営業) 年末年始 (12月29日から1月3日) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日1,000円 (30人以上の団体 800円) (11枚綴り回数券 10,000円) ※ 年長者割引制度利用500円 ● 小・中学生 1日 500円 (30人以上の団体 400円) (11枚綴り回数券5,000円) ※ 安全管理上、小学生のみでの釣り台入場はお断りしています。 ● 遊歩道利用：無料 ※ 釣り台に入る方、ライフジャケットが必要な方は利用料金が必要。 ● 竿、エサ、仕掛け、バケツ付800円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 300円 (1日) ・約150台 ※ 12月1日～3月31日は無料 	アジ・カレイ・チヌ・ メイク・キス・コダ イ・サヨリ・ヒラメ・ フグ・ベラ・ボラ・ アイナメ・カサゴ・ メバル・カワハギ 等	<div style="text-align: center;"> <h3>脇田海釣り栈橋</h3> <p>脇田海釣り栈橋詳細図</p> </div>

<p>日明・海峡 釣り公園 北九州市港湾空 港局 港湾事務 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●海に突き出た300mの防潮堤と海岸沿いの遊歩道 ●トイレや休憩所、身障者用の釣りスペース <p>遊歩道にはベンチを完備。休憩所は、1階が売店とトイレ、2階が研修室 売店長浜屋 売店有り (釣り具、仕掛け・餌、お菓子、飲料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防潮堤部分 (4月～10月) 6:00～21:00 (11月～3月) 7:00～17:00 ●遊歩道部分 年中解放 ●定休日：毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は営業) 年末年始 (12月29日から1月3日まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料 (78台収容 駐車場横にも約20台の仮設駐車場あり) 	<p>チヌ・メイト・クロスギ・セイゴ・カレイ・キス・アジゴ・ヒラメ・アイナメ・タナゴ・サンバソウ・メバル</p>	
<p>福岡漁港 海浜公園 福岡漁港海浜公 園 管理事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長さ280m防波堤。普通、防波堤は釣り禁止。この防波堤では浮輪などの設備により、安全に釣りを楽しむことができる。 ●公園内には、90隻のプレジャーボートを収容できる浮き桟橋、水際まで下りることができデートスポットとしても人気のある南護岸、遊歩道も整備され、気軽に釣りが楽しめる南防波堤のほか、芝生の丘や他目的広場など。 <p>売店無し (自販機は有り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート防波堤釣り場に柵、手洗い場も有り 	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間 ●年中無休 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料 	<p>メバル・メイト (クロダイ) ・キス・メゴチ・メイト・バリ・アジゴ・ハゼ・コッパグロ (メジナ) ・コシロ・カマス・ヒラメカレイ・アイナメ</p>	

<p>うみんぐ大島 株式会社むなかた 大島</p>	<p>●平成23年4月にオープンした公共の海洋体験施設。 ●釣防波堤 長さ300m、幅12m、水深は4m～7m、最大175名収容可能な釣り専用防波堤。藤丈程の転落防止柵・10カ所の救命梯子・15カ所に救命浮環を設置して安全に配慮。また、防波堤の付け根付近には清潔なトイレ（車椅子利用可） ●釣堀 「手ぶらでOK！」レンタル釣具、エサ各種（撒き餌は禁止）、発泡クーラー、氷など常備。 イクスは6区画あり、広さはそれぞれ15m×20m、最大15名竿出しが可能。 ●体験学習</p>	<p>●4月～10月 8:00～17:00 ●11月～3月 8:00～16:00 ●定休日 毎週火曜日 (火曜日が休日の場合は、その翌日) (年末年始は、12月28日から1月4日)</p>	<p>●海洋体験施設入場料金 一般：1日 610円 団体（15名以上）510円 小学生：300円 団体（15名以上）250円 小学校就学前の児童が利用するときは、無料。 本施設の入場料金です。この料金で釣り防波堤での釣りができます。 ●釣堀利用料金 (1回一人につき) 釣堀は完全予約制 一般：5,100円 同伴者：1,630円 小学生：3,100円 同伴者：810円 団体（15名以上）割引有 ●釣りエサ150円～ ●貸し竿セット1,000円 ●氷300円 ●保冷箱400円～ ●各種魚の調理サービス200円 ●釣り教室2,570円</p>	<p>●無料</p>	<p>回遊魚・青物・根魚・アジ・シマアジ ハマチ・ヒラマサ・メバル・カサゴ (アラカブ) カワハギ・ベラ・メジナ・クロダイ・マダイ・スズキ・ボラ・タコ・ミズイカ</p>	
<p>福岡市 海釣り公園 福岡市 漁業協同組合 海づり公園管理 事務所</p>	<p>●海上沖386mのT字型鋼製釣り桟橋 (釣り場面積) 3,270㎡ (第1釣台) 巾6m×長さ120m (第2釣台) 巾6m×長さ180m ●鉄骨3階建管理棟 職員が常駐し、安全管理や事故防止には、万全を期しています (1階) 身体障害者用トイレ 指導員室(2階) 男子トイレ (3階) 女子トイレ 軽食自販機 魚拓展示コーナー 展望所 休憩所 授乳室 コインロッカーキッズコーナー (絵本・DVD) ベビーベッド</p>	<p>●4月～10月 6:00～18:00 ●11月 7:00～18:00 ●12月～2月 7:00～17:00 ●3月 7:00～18:00</p>	<p>●釣台使用料/4時間以内 (釣りをする人) 1,000円大人 500円小人 ●回数券 (11枚綴り) 10,000円大人 5,000円小人 ●超過料金 (1時間まで毎に) 250円大人 100円小人 ●入園料 (見学のみの人) 200円大人 100円小人 ●竿・リールのセットで400円</p>	<p>●二輪車 1台1回100円 ●普通車・準中型車 1台1回300円 ●中型車 1台1回600円 ●大型車1台1回 1,200円</p>	<p>チヌ(メイト)・アジ・スズキ・タナゴ・アイナメ・イシダイ・クロ・バリ・ヒラメ・カレイ・カマス・カワハギ・サヨリ・メバル・ボラ・カサゴ</p>	

引用：北九州市http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0022.html
北九州市https://www.city.kitakyushu.lg.jp/m/file_0209.html
福岡市<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/shisetsu/fukumagyokou.php>
うみんぐ大島<http://umi-ing.com/>
福岡市海釣り公園<http://umizuri.com/>

【付加価値（サービス）】

①目的

親子ファミリー層、女性層に向けては、「釣り初心者」を前提とした、付加価値（サービス）の提供が重要と考えられる。体験等のサービスについては、関係者との取組が必要な事から、現状付加できるサービスと必要性、可能性を明示することで、関係者との合意を図っていく。

付加価値（サービス）	想定される関係者	可能性
◆釣り具レンタル	地元釣り具店	◎
◆釣り餌	地元釣り具店	◎
◆釣り体験ガイド（講師） 餌の付け方～釣り方（土・日・祝）	地元釣り関係者 愛好家	○
釣り教室・イベント開催 （親子・ファミリー、女性層向けに年数回開催）	地元商工会 地元釣り関係者 愛好家 *「Family Fishing in Ashiya」等の ファミリーフィッシングイベント連動	◎
◆団体客対応（学校関係の体験・研修 修学旅行等）	観光協会等	○
◆体験型観光	観光協会等	○
◆食との連動 （町内提携飲食店で釣った魚の料理提供）	地元飲食店、芦屋町商工会、 芦屋港内飲食店	◎

（優先度）◎必要 ○今後必要 △現状は厳しい

②課題

漁業従事者との連携において今後、機運醸成を図っていくことが必要。

【Ⅷ. 運営管理】

施設の運営体制については、安全管理、運営管理、企画、経理とマネージメントとマーケティングの視点から組織化が必要。飲食・物販等の機能に関する運営管理とも連動し、効果的な運営管理の体制づくりが必要。

【運営管理体制（案）】

